

MAEBASHI 2018▶2019 WEEKLY REPORT

インスピレーションになろう
Be the Inspiration



2018.11.27 (火)
第3114回 例会報告
例会日…火曜日(12:10)～群馬ロイヤルホテル
(第1回 昭和28年9月8日創立)

会 長…宮崎 瑞穂 幹 事…温井 尚久
クラブ会報委員長…江原 友樹 編 集 者…江原 友樹

ホームページ URL <http://www.maebashi-rc.jp/>
電子メールアドレス office@maebashi-rc.gr.jp
maebashi@rid2840.jp

点 鐘 宮崎会長

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

司 会 伊藤副幹事

ビジター

◎前橋市教育委員会
学校教育課 教育企画係
係長 おくだ なおゆき 奥田尚之 さん

あらい のぶお 新井信男 さん



会長報告 宮崎会長

本日前橋市教育委員会からお礼のご挨拶をいただきましたが、過日の学校フェスタでは会員の皆様にお世話になり、おかげさまで今年もうまくいきましたこと私からも感謝いたします。前回の例会終了後も多くの会員に最後の後片付けまでお残り頂きました。おかげさまで後片付けも予定より短い時間で終了し、数は力なりを実感した次第です。

次に2021～2022年度の会長を指名する指名委員会のことです。11月6日の例会後に1回目、11月13日に2回目の指名委員会が開催されました。この件につきましては菊川会長エレクトより報告をさせていただきます。

指名委員長決定の件

菊川会長エレクト



役員・理事候補者(案) 山田邦子指名委員長

過日11月6日に指名委員会が開かれ、委員の皆様からのご意見で、指名委員長を拝命いたしました。

次年度、菊川年度の役員・理事の候補者についてですが、定款13条と細則に則りまして案を作成いたしました。



12月4日が年次総会にあたりますので、そこで皆様の決を頂き、菊川年度の陣容が決定する訳であります。その1週間前、すなわち今日の例会で、皆様にご案内申し上げる定めになっていきますので、指名委員会の結果をBOXに入れさせていただきました。一番肝心の副会長ですが、望月年度の次の、2021年から2022年(日本のロータリー101年という再出発の年度)の会長になります。指名委員会からの推薦で、ご本人に熟慮の結果、内諾していただきまして、副会長に、はせひろかつ長谷浩克会員をご推挙する事にいたしました。

その他の役員・理事候補者は、お手元の資料の通りでございます。次週の総会でご承認となりますよう委員長としてお願いを申し上げ、報告させていただきます。

会長の時間 宮崎会長

ということで長谷会員が指名されましたが1週間の周知期間を設け次回再度皆さんにお諮りをして正式に決定といたします。

続きまして会長の時間です。昨日の日経新聞の一面トップに単身高齢者1割を突破のヘッドラインが出ていました。3大都市圏〔1都2府県〕ではこの15年間に単身高齢者は2.1倍の289万人に達し、世帯全体の1割を突破したということです。単身高齢者は介護や生活保護が必要な状態に陥りやすく、社会保障の財政運営が厳しくなる懸念が強まっています。

高齢者の増加は地方でも問題になっていましたが、すでに高齢化は過疎化とともに進展していたので、高齢化率は徐々に上がるにしてもこれから余り急激な増加にはなりません。しかし大都市圏ではこれから団塊の世代やその次の世代が高齢化を迎え非常に大きな高齢者の増加を迎え正念場といえます。今まで職場や学校が沢山有り文化的や娯楽の施設が多く、刺激的で多くの若い学生や労働者を集めて好景気を謳歌してきた都会がこれから大きな問題をかかえるかもしれません。

これに対して国は2013年から地域包括ケアを提唱しています。また東京で困るなら人口減少で悩む地方に移ってもらうという発想もありますが、現実的には進ん

でいません。むしろ介護が必要になったお年寄りが心配で東京へ引き取るようなこともあります。CCRC構想も元気な内に地方へ移ってもらう仕組みになっていますが、日赤の跡地などでも検討されていますがうまくいかないようです。

地域包括医療システムはその地域に住んでいる、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで持続できるように、介護や医療、さらには住まいや生活支援と言った高齢者を支えるサービスを一体的に提供するシステムです。その実現のためには介護職や医療関係者、行政などの多職種が連携して行く必要があります、地域包括支援センターやケアマネージャーが仲介役として重要な役割を果たします。そして厚労省は構想の区域として中学の範囲程度を考えています。そしてその概念を示す模型の絵を示していますが、その中心には、植木鉢で表しています。具体的には「住まい」のことで、この概念の中心になるのは地域の自分の住まいであってこの住まいを中心に約30分でいける距離地域で高齢者を支えると言うことです。

医療では以前から機能分化をすすめて、機能の異なる施設の連携の重要性を強調して様々な施策をとってまいりました。地域包括ケアに向けて医療に関して国は新たに地域包括ケア病床という病床、報酬区分を作りました。どのような患者さんが入るかという①在宅や介護施設で療養している患者の急性増悪を受け入れるサブアキュート。②急性期治療を終えた患者の継続的治療やリハビリテーション（以下、リハビリ）を中心とするポストアキュート。そして、③在宅復帰支援です。高度で濃密な医療を提供する急性期病棟とは異なり、地域包括ケア病棟は全人的な観点で高齢者を支えます。この病棟は前回お話した様に手術は除いて包括支払いですが診療報酬が比較的高く設定されたため設置している病院も増えてきました。しかし大きな病院では許可されておらず、日赤も設置できません。

いずれにしても地域包括ケアは地域が主体となり、自助、共助、公助によって支えて行くことが求められています。このように述べると非常に素晴らしいことではありますが、要するに国はお金が無くてもう入院は無理だから自宅で何とかやってもらおうと言う本音もちらほらと見え隠れします。そしてこれを実現するにも費用がかかります。介護保険の利用や、訪問看護、訪問リハなどもしっかりと整備する必要があります。そうしないと結局家族に負担がかかり最終的に破綻しかねません。何はともあれその地域に住み続けられるのは良いことと思います。

そしてこれを実現するのは、前橋などは比較的良い地域だろうと思います。都会のようにマンションなどが多くて、近所の関係が希薄なところではなかなか難しいし、又もっと田舎になると過疎のところではそもそも支える人がいない状況が考えられます。その点では自治会や老人会が重要になっていると思いますがこれは街によってうまく運営できているところとそうではないところがあるようです。

これからますます少子、高齢化が進み、世界の国が、日本がどうなるのか、非常に興味を持って見守っているといえます。これまでの所は世界に冠たる医療保険制度に加え、2000年には介護保険制度が発足し比較的うまく対処できてきました。しかし介護保険も保険料の急激な伸びから先行きが危ぶまれています。私は少しでも長く健康寿命を保ち、この難局を乗り越え、次の世代に負担の先送りをしないようにしたいと考えています。

幹事報告 温井幹事

- 1、次回、12月4日の例会は年次総会となりますので皆様の出席をお願いします。また、例会前の11時より理事会を開催します。
- 2、明日、18:30より前橋商工会議所会館3階アイビーにて第2回長期戦略計画委員会を行います。対象の方は出席をお願いします。
- 3、米山、ロータリー財団の寄付金の集まりが良くありません。御済でない方はご協力をお願いします。



副幹事報告

前橋東RC、前橋中央RC、安中RC、富岡中央RC

出席報告 廣田会員

会員数：122名

- 出席者 74名
- 欠席者 48名



本日出席率：63.74% 前々回訂正：74.56%

ニコニコBOX報告 関田会員

- 増田晋一…結婚記念日に素晴らしい花をありがとうございました。日頃花のプレゼントをしたことがなかったのととてもいい記念になりました。
- 金井 政人…結婚記念日に、ステキなお花をありがとうございました！
- 石原秀一郎…結婚記念日にきれいなお花をいただきありがとうございました。
- 長谷 浩克…結婚祝いに生花をいただきありがとうございました。
- 福島 英人…62年前の今日、前橋市向町の横地産婦人科で生まれました。年金申請ができる年令まで元気でいられる体に生んでいただいた亡き母に感謝して。



会員卓話

日本銀行前橋支店 岡山和裕会員

「日本銀行の業務と金融政策」 講師紹介 都丸プログラム委員長

